

第2回懇談会における各委員の意見等要旨及び対応等について

項目	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
圏域の状況	【産業別就業人口の推移】 5ページ ・「両市町とも第三次産業…が高い割合を占めています。大空町は第一次産業…が高い割合を占めている。」は、二元的な表現なので、そう少し上手に整理する必要がある。	・表記を修正する。
	【漁業の推移】 10ページ ・漁業は年によって変動が大きいので、何年と何年を比較するのは意味がないのではないか。	・漁獲量と漁業生産額の「H18/H21年」の比較を削除し、分析の表記を修正する。
圏域の将来像 11ページ	・基盤となる「まんまを食える」ようなことが大事であると、一言あっても良い。食い扶持があつて結果的に生活があるという目線が大事。	・できるだけご意見を反映できるような表記に修正したい。
	・もう少し美しく謳い上げて良いのではないか。この地域は本当に豊かな資源に恵まれているので、「こうやって生かしていけば、将来住民のみんなが豊かな生活を享受できるんだ」というようなことが書かれていけば。	
	・夢がある、ロマンを感じるものを作った方が良い。	
	・定住人口も大事だが、交流人口も増やさないと、新しい血も入ってこないし、刺激も出てこないし、消費も出てこない。 ・交流の次はリピーター、リピーターがサポーターになっていく。観光も重要な視点。	
現状と課題	・課題があつて、それに対応するために事業をやるので、具体的取組の課題を記載した方が分かりやすい。	・「現状と課題」を追加する。

項 目	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業一覧に書かれている文言を、具他の取組に入れても良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川環境保全対策事業の事業概要については、詳細な事業内容を記載する。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・東藻琴地域は、救急搬送体制は網走地区消防組合で、医療体制は美幌医師会というような歪な形の中で、住民は大変な思いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既に網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議において検討が進められており、本年8月に斜網地区の救急医療体制が確立される見通しのため、現時点では保留。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館はじめ芸術文化の取組は、数年前から両市町で連携している。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・人を呼び寄せる魅力ある施設整備がされていない。 ・スポトレの子供用施設は規模が小さい。教育、文化、芸術を総合的につながっていけるような整備をしていく必要がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・網走市の社会教育施設には、美術館や博物館もあるので、これらの分野も具体的取組に入ってきて良いのではないか。 ・子供たちの教育等においても、両市町の社会教育施設を利用した新しい連携事業も考えられるのではないか。 ・子供にも大人にも教育の機会を広げる事項を、両市町でもっと話し合っていくことが凄く重要になってくる。 ・両市町単独の施設を共同で相互に利活用することにより、相乗効果が出てくることも、今後考えていかなければならないのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大空町の体育施設の一部には、町外者用の料金設定がされているものがあるので、今後事業を進めていくうえで考えていく必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ盛り込む。

項目	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
広域観光	<ul style="list-style-type: none"> ・チャーター便が激減している中、着陸料や空港ビル使用料を無料にしなければ、他の空港に太刀打ちできないのが現実。利便性といっても、北海道の場合は全部千歳空港になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ盛り込む。
	<ul style="list-style-type: none"> ・空港ビル使用料を払えずに、テナントが退去するケースが結構ある。空港ビルと駐車場の使用料が高いのもっと安くして、多くの人に利用してもらい、地元住民も楽しめるような空港にしてもらいたい。 ・大空町は空港ビル(株)に対し「空港賑わいづくり事業」の補助金を支出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ包括的に盛り込む。
	<ul style="list-style-type: none"> ・空港のPRも大切だが、基本的には観光資源の核になるものをアピールして、肉付けしていくことが大事。如何に人を誘致するかが一番の課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ包括的に盛り込む。
	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光は、もう少し広い範囲で連携することが必要ではないか。ビジネスだからまとまらない部分もあろうかと思うが、北海道の中で奪い合うというのは悲しい思いがする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が暮らしやすければ、それが形となって観光になっていくことが一番望ましい。 ・将来北方四島が世界的な観光資源になった場合、道東の「ゆるやかな田園風景、農村景観」が重要になってくる。行政側が報奨制度により、建物の壁や屋根の色を指定する取組ができれば、きれいな農村景観づくりを進められるのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高くてもわざわざ行ってみたい、最終的に住みたいとなるには、観光と環境が同じでなければならない。 ・環境教育が凄く大事で、利害関係が云々ではなく、地域全体の質・レベルを高くしていかなければ、観光はおぼつかなくなる。 	

項 目	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・河川環境保全対策事業に網走川を入れてもらいたい。 ・網走川は泥水がひどく窒素が多いので、課題を載せてもらいたい。 ・河川環境保全対策事業の事業概要中「参加する」を「推進する」に変更してもらいたい。 ・大空町の藻琴川環境保全活動の事業内容の表現を修正してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・網走川を追加する。 ・網走川の課題を追加記載する。 ・「推進する」に修正する。 ・事業内容を修正する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・川に親しむ親水性促進のための事業が、重要になってくるのではないか。 ・両市町の子供たちが一緒になってカヌー下りなどの取組ができれば素晴らしい。 ・過去にも親水のイベントはいろいろ実施されてきたが、継続されずに単発で終わっている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの現状と課題を、大空町と網走市を並べて書いたら、分かりやすい。 ・ごみ分別による効果を埋立処分場のデータで比較するのも良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ盛り込む。 ・ごみの最終埋立量は減少傾向にあり、人口減少をはじめとする様々な要因が考えられる。分別による効果を計れるデータはない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理は重点項目として、いろいろな意見を集める仕組みも併せて考えた方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・特に両市町の職員が交流や情報交換できる場を積極的に作っていくべき。ただ「一緒に勉強しよう」ということでなく、いろんな取組について「一緒に考えよう」という仕組みづくりができれば。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」へ包括的に盛り込む。